

UniBio Pressは何ができるか

- 小さな変革から大きな変革へ -

(社) 日本動物学会の現状

- ◆ 社団法人日本動物学会会員2800名
 - ・ 事務職員は1名
 - ・ 予算規模は5千万円
 - ・ 印刷出版費3千万円(科研費1千万円)
 - ・ 雑誌売上代金 300万円
- 生物系学協会では大規模学会？

日本の生物系学協会の現状

◆ 小規模学会の乱立

- ・生物学の広範囲な分野を反映？
- ・会費以外の収入は？
- ・会誌は会員のためのみの出版？
- ・そもそも学協会とは何か？

論文誌発行事業と助成金問題

◆昭和30年から平成10年まで右上がりの曲線で、補助金は支出された。

・日本の経済成長に見合う

しかし、平成10年からは見直しがはじまり

同時に計画調書は毎年スタイルを変更。

・平成10年5月？化学会中西氏、日本機械学会高橋氏、生化学会中嶋氏、動物学会永井。学協会と文部省(当時)との戦後はじめての会合。

大蔵省、文部省の見解 (平成10年当時)

- ◆ 政府は、研究情報流通促進という観点から公費を支出しており、現在の助成金は学協会を守るのが第一義目的ではない。
- ◆ 研究情報に関し、研究者は何を求めているのか、また、研究者のための組織である学協会は、その維持のために、何が困っており、何を求めているのか、問題意識を把握する必要がある。

◆情報伝達方法の多様化の中で、どういう形の学術情報誌が求められているのか、学協会は、研究者のニーズにどう対応するのか。

◆学協会誌の評価は重要であるが、研究情報に対する需要者側の要請の多様化、出版経費の高額化に伴い、情報誌への補助対象は学協会ではなく、出版社等という方策の転換が考えられないか。民間参入という新展開は、学術情報流通の活性化と販売網の拡張をもたらす効果が期待できるのではないか

- ◆ 学協会は、研究者の自発性に基づき設立され、自主的に運営されるのが基本原則であるが、それら学協会に対する行政的つきあい方としては、個々の対応ではなく、ネットワーク化体制の中心的役割を担うべき代表的な学協会を対象とする方策が、今後の検討課題となると思われる。
- ◆ 学術専門誌の商業化が進んでいるというが、米国、西欧における学協会の有り様はどうなっているか。またこのような傾向の中での学協会の存続意義をどのように捉えていったら良いのか、目的、機能の両面から検討する必要がある。

◆ 国際化の波が押し寄せる中で、我が国としても、その得意とする研究分野の情報を積極的に発信する政策を進めていきたい。例えば、国際発信できるジャーナルの育成策（近縁情報誌の統合、5 - 10年の継続助成）も検討に値する問題である。

生物系学協会は統合できるのか

◆平成12年5月12日付け

世界へ向けての研究情報の発信と英文
学術誌の電子化出版

日本学術会議

応用物理学研究連絡委員会

工学共通基盤研究連絡委員会
物理工学専門委員会

物理学研究連絡委員会

◆ 結論からの抜粋

- - 世界的に評価される学術情報の発信は国の知的活力であり、現代における国力の指標の一つでもある。英文学術誌は今やそれぞれの学協会に属する会員のためだけのものとしては成り立たず、世界の一流誌に伍して国際的に読まれる学術誌にならなければ生き残れない。それには一学会の力では難しく、複数の学協会が共同して共通の経営戦略の下に出版事業に努力しなければならない時代になりつつある。

ではUniBio Pressは何ができるか

- ◆ 生物系学協会3学会による日本発の電子ジャーナルパッケージ(JSTAGE)
- ◆ 商業出版社が介在しない、自主的意志、合意によるパッケージ
- ◆ SPARC / JAPAN選定誌であることの優位性
- ◆ BioOne 方式による収入の分配



BioOne™

BioOne Database

Current Issues
Search BioOne
BioOne Abstracts
and Indexes Database
Journal Archives
The Arabidopsis Book
Monthly Top 25
BioOne Sitemap
Linking to BioOne

Publish In BioOne

Subscribe To BioOne

Trial Registration (US/Canada)
Trial Registration (Outside US/Canada)

BioOne Information

Copyright Information
Privacy Statement
BioOne Reports
BioOne Help page

Contact BioOne

Contact Principals
Send Feedback

About BioOne

BioOne FAQ
BioOne News
Partners
Publishers

BioOne®

- [Current Issues](#)
- [Search BioOne](#)
- [Help](#)
- [BioOne Abstracts and Indexes Database](#)

Welcome to BioOne®, a unique aggregation of high-impact bioscience research journals. As an innovative collaboration among scientific societies, libraries, academe and the commercial sector, BioOne is working to help transform the scholarly communication process by providing expanded access to scientific research results. BioOne provides integrated, cost-effective access to a thoroughly linked information resource of interrelated journals focused on the biological, ecological and environmental sciences.

- [What's new in BioOne!](#)
- [BioOne Abstracts and Indexes Database Now Available!](#)

- [Join The BioOne Online Issue Alert](#)



BioOne方式について

- ◆ 収入を、各雑誌のアクセス回数とページ数により、収入を配分
- ◆ 本来は収入の決められた部分を新しいパートナーのため、運営のために残しておく。

Impact Factorとアクセスログ

- ◆ 現代の生物系における「情報」とは何か。引用される論文だけが重要なのか。
- ◆ フリ - アクセスはImpact Factorを上昇させるという考え方
- ◆ 商業出版社のパッケージの中にはいることはやはり有効？

UniBio Press 平成16年度購読数

◆ 動物学会ZOOLOGICAL SCIENCEの購読 図書館がベ - ス

- ・ 国立大学図書館は3月8日付けでタスクフォ - ス事務局から各大学へ通知

- ・ 私立大学図書館へ向けては3月5日東西役員会席上、UniBio Pressとしての提案書を提出。

- ・ 日本医学図書館協会との交渉開始

- 学術情報の真の担い手は誰か - 研究者！！

- ◆ 学協会と図書館は、売り手と買い手。
- ◆ 双方の後ろに存在するのは研究者。
- ◆ 所属される学協会の雑誌をどうしたいかを主体的に考えられるのは、編集委員会であり、所属する会員の研究者。

良い論文をひとつ所属学会会誌へ投稿する。
その論文を必ず他の論文で引用する。